

骨シンチグラフィ

検査を受けるにあたって

【骨シンチグラフィを受ける際の注意事項】

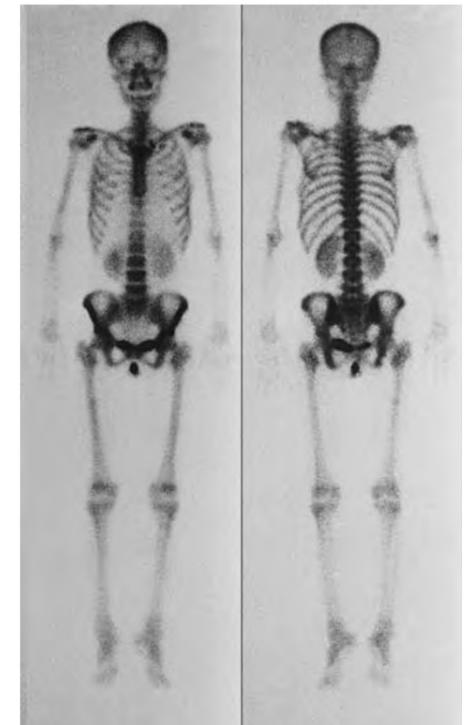
- 検査の予約日時を守ってください。
- 検査前の制限は特にありません。
- 注射から撮影まで数時間の待ち時間があります。
- 撮影の直前に排尿をお願いします。
- 妊娠中・授乳中の方は申し出てください。

氏名:

予約日時: 月 日 注射時間 午前・午後 時 分

撮影時間 午前・午後 時 分

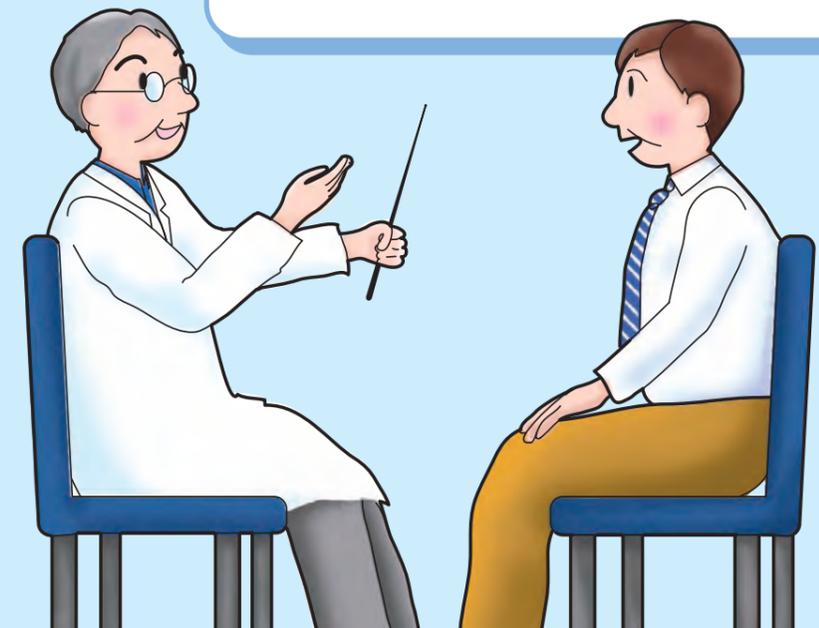
正常例



前面像

後面像

骨の状態や病気を
詳しく調べます



わからないことや不安な点がありましたら、遠慮なく担当の医師、技師、看護師におたずねください。

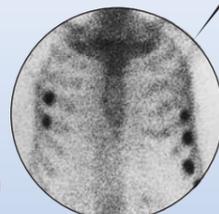
病院名



骨シンチグラフィとは

なにがわかるのですか？

全身の骨のようすを写真に撮って、がんの骨転移、外傷等による微小骨折など、X線検査ではわかりにくい様々な骨の状態を詳しく調べることができる検査です。疲労骨折や骨粗しょう症による骨折の早期発見にも用いられています。



前面スポット像



前面像

<疾患例>

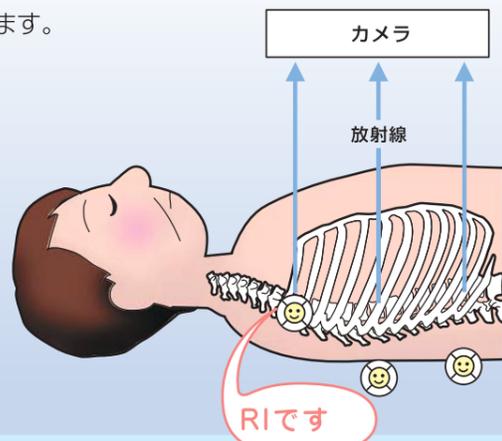


骨へくすりが集まった様子・程度から診断します

どうやって調べるのですか？

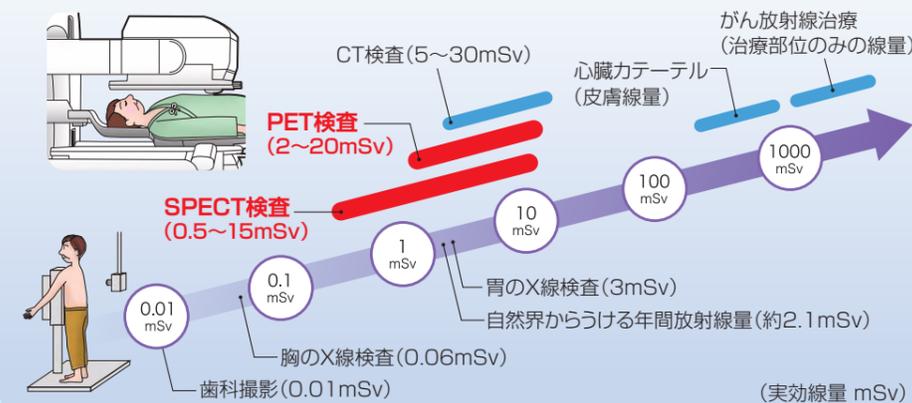
放射線を出すラジオアイソトープ (RI) でのしるしをつけた、骨の組織に集まる性質のあるくすり(放射性医薬品)を注射し、それから出る放射線を特別なカメラでとらえて全身の骨のようすを観察します。くすりは骨の代謝が盛んな部分に多く集まるので、骨の状態が変化している部分があることがわかります。

全身の撮影の後、より詳しくみるため追加で特定の部位を詳細に撮影することもあります。



放射線の影響について

核医学検査1回あたりの被ばく線量は0.5~20mSv程度で、X線検査やCT検査でうける被ばく線量と同程度と考えられます。検査の目的により投与する検査薬の量は異なりますが、投与量は微量なため、副作用はまれです。



【参考資料】 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
●量子医学・医療部門 CT検査など医療被ばくに関するQ&A : <https://www.qst.go.jp/site/qms/1889.html>
●放射線医学総合研究所 放射線被ばくの早見図Ver 180516 : <https://www.nirs.qst.go.jp/data/pdf/hayamizu//20180516.pdf>



検査の受け方

検査前

● 診察を受けます

症状に合わせて検査の計画を立てます。疑問や不安がありましたら、主治医へお問い合わせください。(妊娠中や授乳中の方は申し出てください。)

● 検査の予約をしてください

検査に使うくすりは検査日当日しか使えないため、検査予定に合わせて用意をします。直前のキャンセルは難しいため、確実に来られる日に予約してください。

● 注意事項、指示を確認しておきましょう



検査日まで

検査前の食事や薬を控えていただくことがあります 指示に従ってください

検査当日

● くすりを注射します

検査に必要な放射性医薬品を静脈注射します。



2~3時間

待ち時間は検査の状況によって異なります

お待ちください

骨にくすりが十分に集まるまで待ちます。



朝食や昼食は普通にお取りください。水分を多めに取っておいてください。

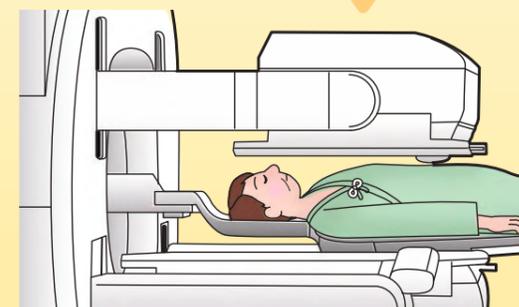
● 排尿してください

くすりが尿中に排泄されますので、膀胱にくすりが残っていると正確な写真が撮れません。直前に排尿を済ませてください。



● 撮影をします

装置のベッドに仰向けに寝ている間に検査します。カメラをゆっくり動かして全身を撮りますのでじっとしててください。30~50分で終わります。もし気分が悪くなったら我慢せず申し出てください。



終了

動かないでリラックス

検査後

● 結果の説明を聞きます

当日、または後日担当医から説明があります。他の検査結果と合わせて診断を行います。

正しい検査でよい治療!

